

抗がん剤と口腔ケア

抗がん剤治療により粘膜炎が生じる一方、抗がん剤による易感染性から、カンジダ症やヘルペスウイルス感染、歯性感染の増悪などで、さらに口腔環境を悪化させます。抗がん剤治療患者の約40%が口腔粘膜炎を発症します。また敗血症は、口腔粘膜炎により発症リスクが4倍以上ともいわれ、口腔粘膜炎の制御がとても重要です。



化学療法前にくちの
中の感染源を減らして
おくことで口腔合併
症を軽減できます



実際の化学療法中による口内炎 8020財団HPより引用

抗がん剤治療による口腔内合併症を予防するために



歯科口腔外科を受診しよう！

治療開始1週間前までには、口腔内の感染源除去と口腔粘膜を障害する可能性のある歯や義歯などを治療しておくことが重要です。

歯がないから大丈夫なわけではないので一度受診して下さい！



口腔内を清潔にして保湿！

化学療法開始前から食後のブラッシングと、食間も2～3時間ごとにうがいをするなど補助的なケアを行うことで、口腔内細菌を減少させ、口腔の感染源を安定化させ、さらに、その急性化や口内炎の予防も期待できます。清潔と保湿が重要です。